

従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表の書き方（参考例）

（参考様式1）

従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表（15年6月分） 事業所名（ ）
 サービス種類（ 訪問介護 ）

職 種	資 格	勤務 形態	氏 名	第1週							第2週							第3週							第4週							4週 の 合計	週平均 の勤務 時間	常勤換 算後の 人数
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
				日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
管理者	介護福祉士	B	香川 太郎		2	2	2	2	2			2	2	2	2	2			2	2	2	2	2			2	2	2	2	2		40	10	0.25
サービス提供責任者	介護福祉士	A	高松 花子		8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8		160	40	1
訪問介護員	ヘルパー1級	A	丸亀 次男		8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8		160	40	1
〃	ヘルパー2級	B	坂出 雪江		4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4		80	20	0.5
〃	ヘルパー3級	C	讃岐 夏子			8		4				8		4					8		4					8		4			48	12	0.3	
			計																														3.05	

- 備考 1 *欄には、当該月の曜日を記入してください。
- 2 申請する事業に係る従業員全員（管理者を含む。）について、4週間分の勤務すべき時間数を記入してください。なお、勤務時間ごとに区分して、その勤務の時間帯を欄外に記入してください。
- 3 夜勤、准夜勤については、網かけをする等その旨を表示してください。宿直については、「○」として記載したうえ、網かけをしてください。
- 4 職種ごとに下記の勤務形態の区分の順にまとめて記載し、「週平均の勤務時間」については、職種ごとのAの小計と、B～Dまでを加えた数の小計の行を挿入してください。
 【勤務形態の区分 A：常勤で専従 B：常勤で兼務 C：常勤以外で専従 D：常勤以外で兼務】
- 5 常勤換算が必要な職種は、A～Dの「週平均の勤務時間」をすべて足し、常勤の従業員が週に勤務すべき時間数で割って、「常勤換算後の人数」を算出してください。
- 6 サービス提供が単位（共同生活住居を含む。）ごとに行われるサービスの種類の場合は、各単位ごとに区分して記入してください。